



## 日本で最も歴史ある第55代「ミス日本」が決定！ ミス日本コンテスト結果のご連絡



第55回ミス日本コンテスト2023(主催:一般社団法人ミス日本協会、後援:スポーツニッポン新聞社)が昨日1月23日に東京・京王プラザホテルにおいて開催され、数千名の応募者の中から第55代ミス日本グランプリとして、

**兵庫県芦屋市出身の吉岡 恵麻(よしおか えま) 20歳**、関西学院大学2年が選ばれました。さらに5名がミス日本に選ばれました。

ミス日本協会は「日本らしい美しさで社会をより良くする」理念を掲げ、夢を叶えるための実力を備えた女性の輩出を目指し、数多くの経験・成長機会を出場者にもたらすコンテストを開催しております。女性活躍の広まりが期待される昨今において、これから日本社会を支えていく気概を持った元気な女性像として、活動してまいります。

★Youtube「ミス日本チャンネル」にて大会映像をフルでご覧いただけます。受賞者の様子は配信動画もぜひ御覧ください。

### ◆今回大会の特徴

- ・歴代4人目となる和田静郎特別顕彰ミス日本(略称:ミス日本特別賞)に、**フェンシング女子サーブルの江村美咲選手**が選ばれ、「美人画の村山」として知られる洋画家、村山直儀画伯による肖像画が贈られました。
- ・審査員質問者に、**元衆議院議員で、2004年度ミス日本コンテスト関東地区代表だった金子恵美さんが登場**。「少子化問題についてあなたが考える解決策を」と問われました。



**2023 ミス日本グランプリ**  
**吉岡 恵麻(よしおか えま)**  
兵庫県芦屋市出身 20歳  
関西学院大学社会学部 2年  
特技:百人一首、硬式テニス  
趣味:寺社仏閣巡り、ダンス、  
古典を読むこと



『(受賞直後コメント) まさか、私を本当に選んで頂けるなんて、夢を見ている感じがします。この素晴らしい賞を頂いたことで、更に夢に向かって努力をしていきたいと思えます。今まで支えてくださった先生方、12人のファイナリストのみんな、家族全員に感謝をしたいと思います。ありがとうございました。』

人物紹介:「ながらへば またこの頃や しのぼれむ 憂しと見し世ぞ 今は恋しき」小学生の頃に出会ったこの和歌一首に込められた思いや世界に魅了され、それから古典文学の魅力の虜になりました。大会中には「古典の魅力を世に広げたい」と都度話しています。幼稚園の時からテニスに夢中になり、10歳にはアメリカのロサンゼルスにテニス海外遠征をするほど打ち込みました。高い身長を活かした運動神経にも自信があります。

応募のきっかけはミス日本コンテストの勉強会の中に、日本で一番古い能の金春流の櫻間家第21代当主の櫻間右陣先生による直接講義に興味を持ったこと。尊敬する女性は、元衆議院議員の金子恵美さん。朝日放送ABCテレビでのアルバイトの際に、優しさと芯の強さを両立した美しさに憧れているそうです。将来の夢は古典の魅力をより多くの方に知っていただくこと。そのためにもまずは正しい日本語をマスターしたいと思い、アナウンサーを志しつつ、学芸員の資格取得も目指し、古き日本の良さを愛し、発信する存在を目指します。



### ◆和田静郎特別顕彰 ミス日本 (歴代4人目)

コンテストへの応募に関わらず、広く一般の中から、「美しい肉体に、美しい精神と強靱な意志が宿る」を体現する女性を選び、さらなる活躍を応援する「和田静郎特別顕彰ミス日本」を設けております。過去には2015年畠山愛理さん、2019年南谷真鈴さん、2021年に清水希容さんの3人が選ばれており、4人目の受賞です。

### 江村 美咲(えむら みさき) 1998年11月生まれ。

フェンシング・女子サーブルの日本代表選手。両親もフェンシング日本代表選手であり、その影響で小学校3年生からフルールに取り組み。2020東京オリンピックにも出場。ワールドカップや世界選手権個人では金メダルを獲得。2024パリオリンピックにも日本代表選手としての出場を目指し、鍛錬の日々を送る。

## ◆「第55回ミス日本コンテスト2023」概要

【日程】2023年1月23日(月) 10:30~15:00

【場所】京王プラザホテル 本館5階エミネンスホール

【主催】一般社団法人ミス日本協会

【後援】スポーツニッポン新聞社

### 【開催趣旨】

一般社団法人ミス日本協会は「日本らしい美しさで、よりよい社会を築くことを掲げております。日本らしい美しさとは、内面・外見・行動の3つの美しさからなり、これらをかね添えた人物を世に多く輩出し、社会を善い方向に導くお手伝いをしてまいります。ミス日本コンテストでは、3つの美を磨くカリキュラムを提供しています。3つの美を見る2日間の審査を経て、日本女性の美の最高位として、ミス日本の称号が贈られます。

### ■2023ミス日本「水の天使」 竹田 聖彩(たけだ せいあ)



20歳 愛知県名古屋市出身 名古屋大学医学部医学科2年生

特技:タイ語/英語/バレーボール 趣味:旅行/食べること/テニス

将来の希望:心の安全地帯となる医師

自己PRコメント(受賞前):幼少期のアレルギーで担当医の先生に支えてもらった感謝を返したい。その想いから医師を目指しました。また、コロナ禍の中、医学知識をわかりやすく丁寧に説明してくれる医師が、どれだけ頼もしい存在か実感しました。高校時代から始めた医学研究や、今学んでいる医学の勉強に全力で取り組みます。そして将来、誰にでもわかりやすい言葉を使い、目の前の患者さんはもちろん、情報発信を通じてより多くの方の心の安全地帯となる、医師になります。

### ■2023ミス日本みどりの大使 上村 さや香(かみむら さやか) ※今回より賞名が「みどりの大使」に生まれ変わりました。



24歳 東京都出身 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 修士2年

特技:ギター弾き語り/作詞作曲 趣味:健康食品探し/動画編集/散歩

将来の希望:ラジオDJ/シンガーソングライター/アナウンサー

自己PRコメント(受賞前):私の原動力は、がん闘病中の母が、病床で私のギター弾き語り配信ライブを聴いて「生きてて良かった」と言ってくれたことです。イヤホンをして寝たままで目をつぶっていても私の声が耳を通して届くことの嬉しさを感じました。私は中学から10年間ギター弾き語りや作詞作曲、現在はSNSを中心に約4万人の方にフォローして頂いています。これらの経験を活かし、将来はラジオDJやシンガーソングライターとして居心地の良い空間が作れる人になりたいです。

### ■2023ミス日本「海の日」 稲川 夏希(いながわ なつき)



21歳 東京都出身 慶應義塾大学法学部法律学科3年

特技:競歩/ピアノ 趣味:高地トレーニング/筋力トレーニング/お伊勢参り

将来の希望:弁護士・国際弁護士

自己PRコメント(受賞前):「僕はお家に帰りたくないの。」仲良しの6歳の男の子が毎日1人孤独に生活していることに衝撃を受けました。以来、子ども食堂等で少しでも子ども達が笑顔で生活を送れるよう手助けをしています。大学では、シェアリングエコノミーのゼミ代表と三田祭講演会の代表、塾生会議のグループリーダーを務めています。生まれや性別に左右されることなく一人一人が人生を輝かせることのできる社会を目指し、弁護士となり一つでも多くの笑顔を咲かせられるよう生涯努めてまいります。

### ■2023ミス日本ミス着物 寺嶋 琴(てらじま こと)



20歳 神奈川県横須賀市出身 東京大学前期教養学部 文化一類2年

特技:英会話/演技/空手 趣味:地域産業体験/全国各地でのマンホールカード収集

将来の希望:弁護士

自己PRコメント(受賞前):裁判所の傍聴席が、私の原点です。外国人の方が関わる裁判を数多く傍聴してきました。言葉の壁を前に不安な様子の方を、今でも鮮明に思い出します。私も留学先のアメリカで不安を感じた経験があり、彼らの気持ちがよく分かりました。そのような法廷で架け橋となっていた法廷通訳人の方々を支え、外国人の方の人権を守りたい。そう強く思いました。将来は弁護士として、法廷通訳人制度の法整備を進めたいです。世界へ誇れる司法制度が整った日本社会を実現します。

### ■2023準ミス日本 東海林 杏朱(とうかいりん あんじゅ)



17歳 東京都出身 高校2年生

特技:初対面の人でもすぐに打ち解けること/物事をポジティブに考えること/料理をすること

趣味:空を眺める/音楽を聴く/洋菓子作り

将来の希望:個性を尊重し温かい世界を築く事

自己PRコメント(受賞前):私の希望は人々が他者を思いやる事が出来る優しい社会を築くことです。高校生になった今は日常で感じたことや経験を大切にしています。それを伝えることで些細な事でも他者の力になることができたと感じることもありました。将来は「今、自分に何が出来るのか」ということを考え行動に移せる人物になりたいです。そしてモデルや女優の活動をしながら人同士の関わりの大切さを伝えたいです。

★本件について問い合わせ先 資料や写真の提供、取材の御申し込みなどもこちらまで★

一般社団法人ミス日本協会 03-5323-0781 Mail: [missnippon@wadaken.net](mailto:missnippon@wadaken.net)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-2-1 京王プラザホテル 南館9階